A99-H006-05

NEW パワフル ペッカー

型式　SM－１３

取扱説明書

ご使用になる前に必ずお読み下さい。

インテリア機器の総合メーカー

KYOKUTO

極東産機
H18.06.26
参考図

この度は、床材剥がし機「ニューパワフルペッカー（ＳＭ－１３型）」をお買いあげ頂きありがとうございます。

この取扱説明書は「ニューパワフルペッカー（ＳＭ－１３型）」の持つ性能を充分に発揮して頂けますよう正しい取扱いと簡単なお手入れ方法等について、説明してあります。

ご使用の前に本書を必ずお読みいただいて、内容を充分に理解した上でご利用下さい。

この取扱説明書は大切に保管しておいて下さい。

又、本機をご利用の際には、常にお手元に置いて下さい。

目次

◆目　次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

◆一般取扱注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

◆ニューパワフルペッカー（ＳＭ－１３型）の特徴・・・・・３

◆全体外観図及び各部名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

◆作業準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５～９

　ハンドル調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
　移動時・運搬時の操作方法・・・・・・・・・・・・・・・６
　スイッチ操作の注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・７
　刃物の取付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
　刃物の角度調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
　スイーパーの調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

◆床剥ぎ作業要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

◆保守点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１～１４

　刃物の研磨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
　ベルト調整と取り替え・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
　走行用ベルトの調整と取り替え・・・・・・・・・・・・１２
　グリスの給脂・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
　クラッチの調節方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
　継ぎピースのセット・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
　過負荷遮断機構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

◆故障かな？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５～１６

◆仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

＜一般取扱注意事項＞

ニューパワフルペッカー（ＳＭ－１３型）をご利用頂くには、正しい取扱いと定期的な保守・点検が不可欠です。

以下の一般取扱注意事項をよくお読みになり、充分に理解されるまで床剥がし作業は行わないで下さい。

この取扱説明書では、取扱いを誤った場合、発生が予想される危害、損害に対する注意事項をその程度により［⚠ 警告］［⚠ 注意］［メモ］という項目に分類して表示しています。

［⚠ 警告］・・・もし、お守り頂かないと、人身事故につながるおそれのある注意事項。
［⚠ 注意］・・・もし、お守り頂かないと、機械の破損、故障につながるおそれのある注意事項。
［ メモ ］・・・これを知っておくと便利という事項。

［運搬時］

［⚠ 警告］移動時は、必ず刃物を外して移動してください。
［⚠ 警告］車への積み降ろしは、ウェイトを外し、必ず大人２名以上で行ってください。又、調整ハンドルを持っての積み降ろしは調整ハンドルが抜けた場合危険ですので絶対にしないで下さい。

［保管時］

［⚠ 警告］水平な場所に保管してください。
［⚠ 警告］保管時は必ず刃物を外してください。
［⚠ 注意］高温・多湿な場所に保管しないで下さい。
［⚠ 注意］刃物は刃先カバーのあるものは必ず刃先に刃物カバーを取付け、布袋・箱等に入れ保管してください。

［床剥がし作業時］

［⚠ 警告］床剥がし作業時は、本機の上に乗ったり、刃物前方で作業したりしないで下さい。
［⚠ 注意］作業前に必ずグリスを給脂して下さい。
［⚠ 注意］この機械は、ＡＣ１００Ｖ用です。それ以外の電源は、使用しないで下さい。
［ メモ ］ニューパワフルペッカー用には刃物が３種類あります。剥がす床の材料や接着の度合に合わせて、使い分けていただくと便利です。
刃物（１）・・・標準刃物です。
刃物（２）・・・ＣＦシート等の長尺床材に適しています。（サイド刃付き）
刃物（３）・・・頑固に接着している場合に標準の刃物（１）よりも適しています。

［その他］

［⚠ 警告］床剥がし作業以外の時は、必ずスイッチをＯＦＦにし、電源コードを抜いて下さい。
［⚠ 注意］電源コードを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。コードだけを引っ張らないで下さい。
［⚠ 注意］定期的に各部のネジの緩みを確認して下さい。（緩みがあれば、増し締めして下さい。）
［⚠ 注意］車輪には、ワンウェイクラッチを使用しているので、左右入替はしないで下さい。

＜ニューパワフルペッカーの特徴＞

「ニューパワフルペッカー（ＳＭ－１３型）」は、従来の床剥がし機の性能・耐久性を更に向上させた床材剥がし機です。

＜主な特徴＞

◆刃物の前後運動により、強力にＰタイル、クッションフロア等の床材を剥がすことが出来ます。

◆３種類の刃物の組み合わせや、刃先の角度調節により、床材の種類、床下地の状態や接着剤の付き具合等に合わせて剥がすことができます。

◆ウェイトにのぞき窓が開いていますので、剥がしている状態を確認しながら確実に剥がせます。

◆長尺シートを剥がす場合、長尺シート専用刃物（刃物（３））を取り付けますと幅を落としながら剥がせます。

◆ウェイトは簡単に取り外すことが出来ますので、運搬時に外せばウェイトの重さ分軽く持ち運ぶことが出来ます。

◆車輪は駆動式ですので調整ハンドルを持って軽く押すだけで作業が行えます。

◆走行スピードはクラッチ調節で半クラッチを上手に行えば使用できます。

◆後退時は、ハンドルレバーを握りクラッチを切って下さい。

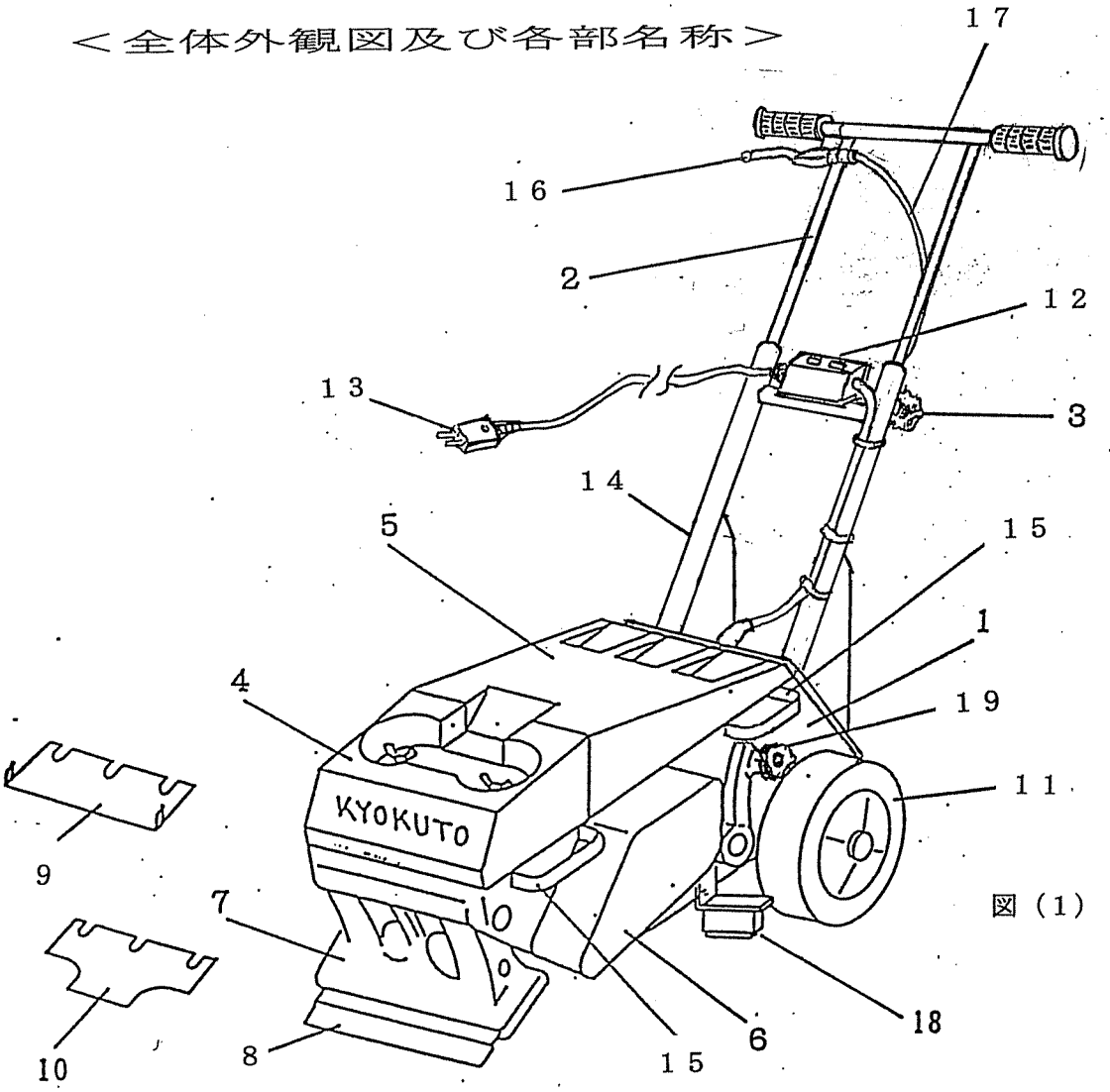
◆走行車輪にワンウェイクラッチが入っていますので、作業時の前進は、現場によっては自走スピードを超えて速く押して進むことができます。

◆刃物は従来機のＳＭ－８型，ＳＭ－９型，ＳＭ－１０型，ＳＭ－１１型，ＳＭ－１２型等のサイド刃をのぞく刃物は使用可能です。従来機の替え刃をお持ちの方も無駄を省いて作業できます。

◆グリスアップ等のメンテナンスがより楽に出来るようになりました。

◆偏芯シャフト等の部品交換が発生した場合でも本体フレームの改良により交換しやすくなりました。

＜全体外観図及び各部名称＞



図（1）

No.	名称
1.	本体
2.	調整ハンドル
3.	ハンドル調整ノブ
4.	ウェイト
5.	カバーウェイト
6.	ベルトカバー
7.	刃物ブラケット
8.	替え刃（1）（標準）
9.	替え刃（2）（長シート用）
10.	替え刃（3）（強力）
11.	走行車輪
12.	スイッチ
13.	差込みプラグ

No.	名称
14.	固定ハンドル
15.	取手
16.	クラッチレバー
17.	ワイヤー
18.	スイーパー
19.	角度調整ノブ

＜作業準備＞

・梱包を開けてニューパワフルペッカー（ＳＭ－１３型）と工具を取り出して下さい。

作業前には必ず下記の点を確認の上ご使用下さい

１．ＡＣ１００Ｖ，１５Ａ以上の電源が確保出来る工事現場であること。

２．刃物がきれいに研がれていること。

３．グリスが充分に給脂されていること。

４．ベルトの張り具合が適当であること。

５．防振ゴムの取付ネジに緩みのないこと。

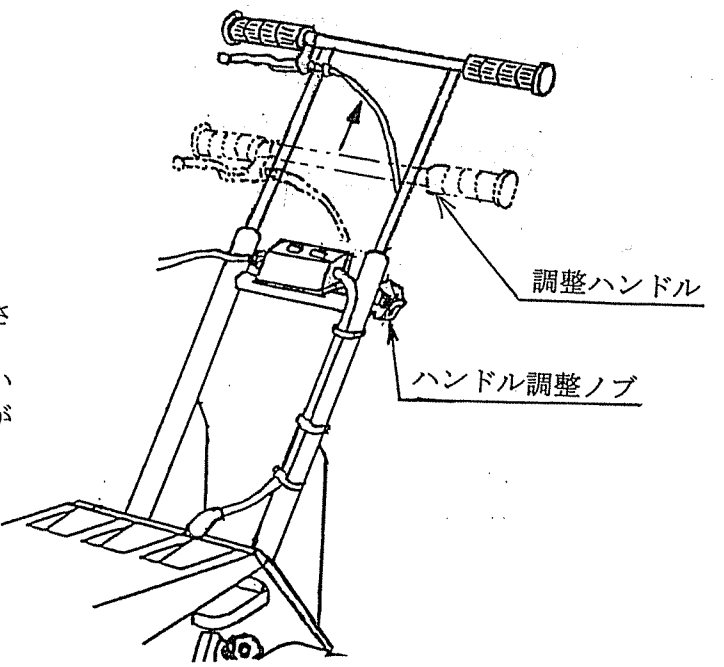
［ メモ ］壁際やコーナー、階段等は、当社の「コンパクトペッカー」を合わせてご使用いただくとより便利です。

［ハンドル調整］

１．ハンドル調整ノブを緩め、調整ハンドルを適当な位置に引き出して下さい。

２．ハンドル調整ノブを締めて、調整ハンドルを固定してください。

［⚠ 警告］ハンドル調整ノブは、きつく締め付けて下さい。
又、作業中も緩んでいないか時々確認しながら使用して下さい。

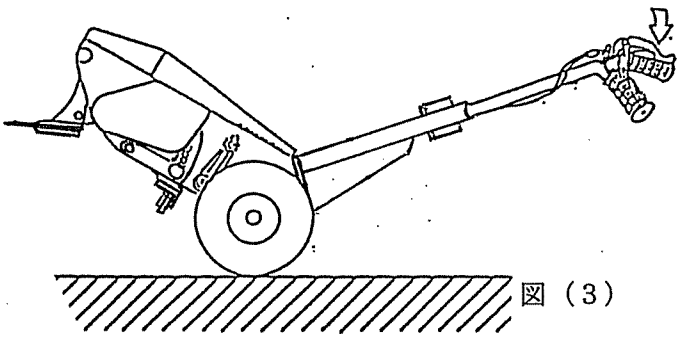


図（２）

［移動時・運搬時の操作方法］

1．移動の際は、スイッチがＯＦＦになっているか、確認して図（3）のように刃先を浮かせてクラッチレバーを握りクラッチを切って移動して下さい。

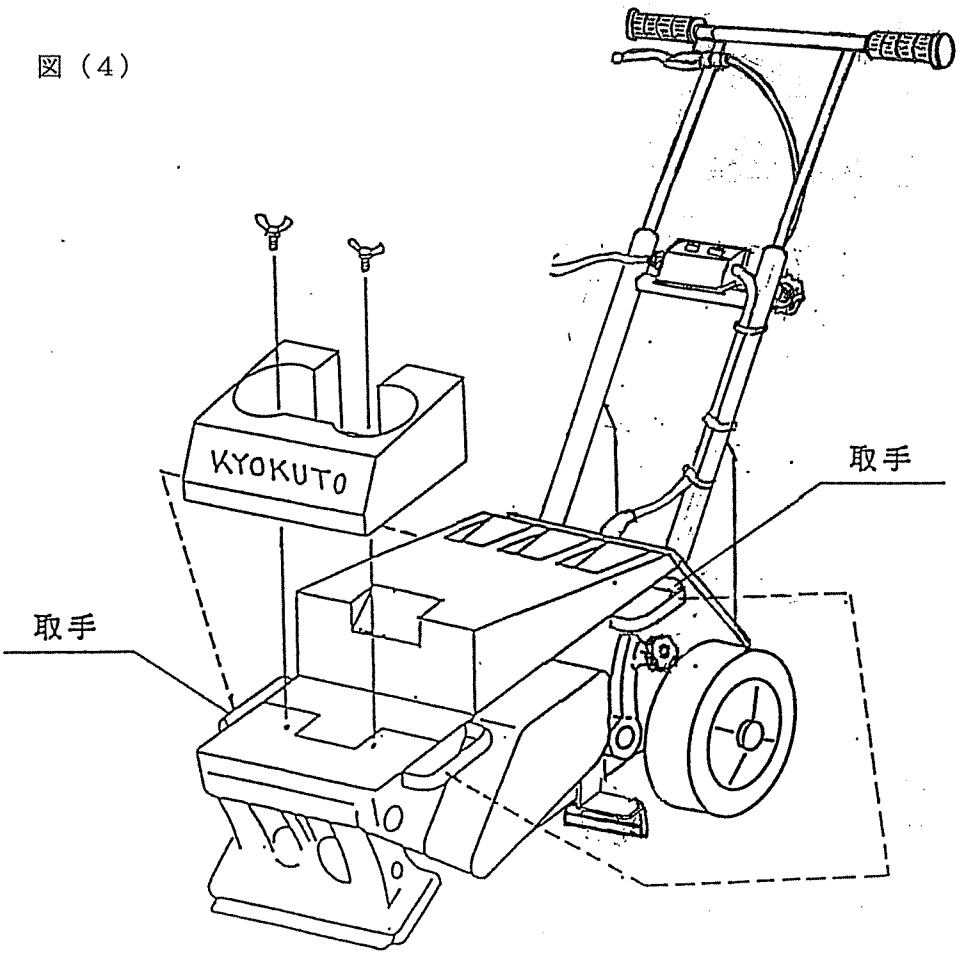
2．車への積み降ろしや、運搬の際は、前部に蝶ボルトで取り付いている、ウェイトを取り外して、図（4）大人２人以上で積み降ろししてください。



図（3）

移動するときの状態

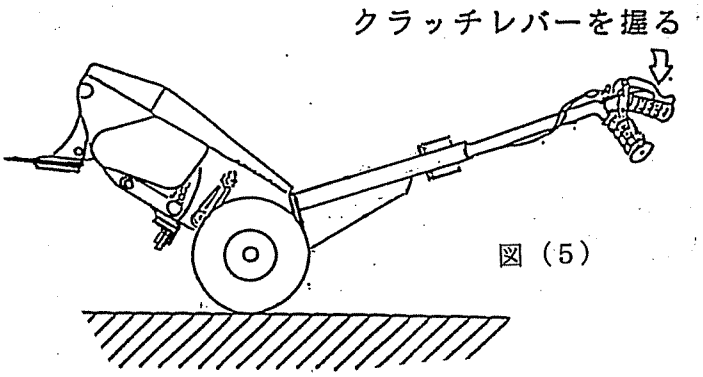
図（4）



積み降ろしの仕方

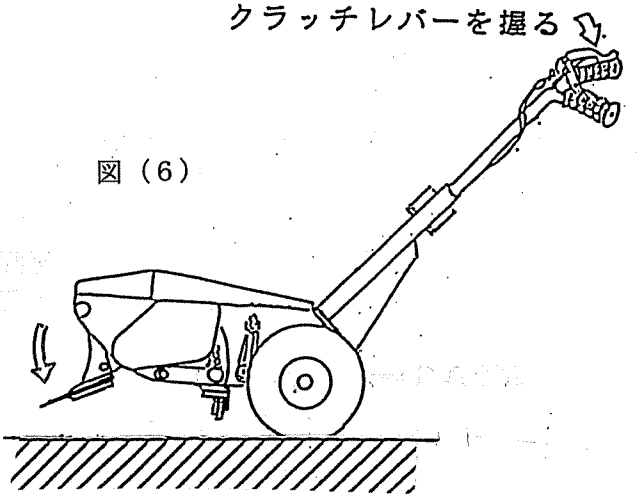
［スイッチ操作の注意事項］

床剥がしのスイッチ操作については、刃先を床より浮かせて、クラッチレバーを握り、スイッチを”ＯＮ”にし刃先の振動が一定状態になった事を音や、黙視で確認し、刃先をゆっくり床に押し付けて行き、クラッチレバーを徐々に放していきます。
（このときに機械が、振動によりバックしてくる事がありますので、バックしてこないように片足を固定ハンドルの締め付けナット（袋ナット）付近に置いて、つっかえ棒のように突っ張りながら刃物を床に押し付けるとバックしない。）



図（5）

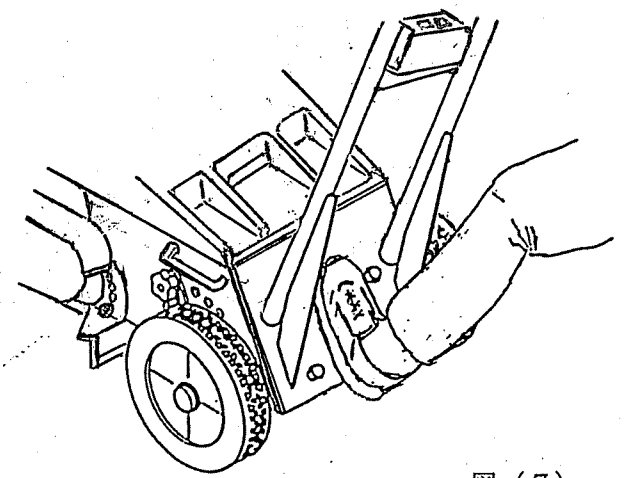
速度調整はクラッチレバーの握り加減を調節し半クラッチを上手に使って速度の調整をして下さい。
（少し走行させて半クラッチの状態を見極めて下さい。）



図（6）

［⚠ 注意］モーターに何らかの過負荷がかかっている場合や、工事現場の電圧が下がっているときは、スイッチ内部に取り付いている過負荷遮断機が作動する事があります。
過負荷遮断機が作動した場合は、１４頁の説明の要領で復帰させて下さい。

過負荷がかかっている場合は、過負荷の原因を取り除いてから再使用してください。
電圧が下がっている場合は、昇圧器で適正な電圧に昇圧して下さい。
（長いコードリール等で電源コードを延長している場合は電圧が下がる事があります。）


図（7）

［刃物の取付］

1．（図８）のように刃先を浮かせて下さい。

［⚠ 警告］ハンドルを人がしっかりと支えて下さい。

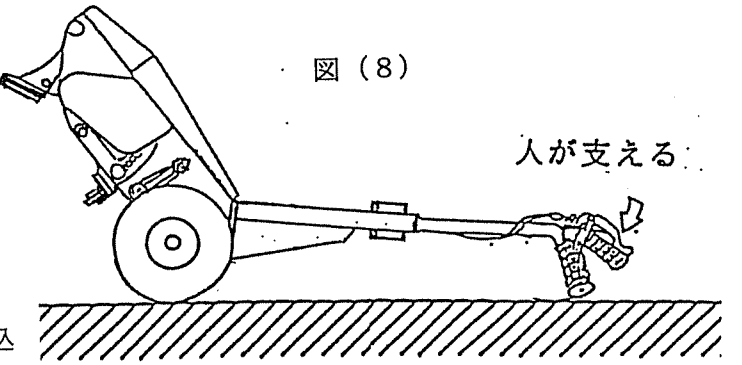
2．刃物の研磨面を上向きに奥まで差込みます。（図９参照）

3．締め付けボルトを締め込みます。

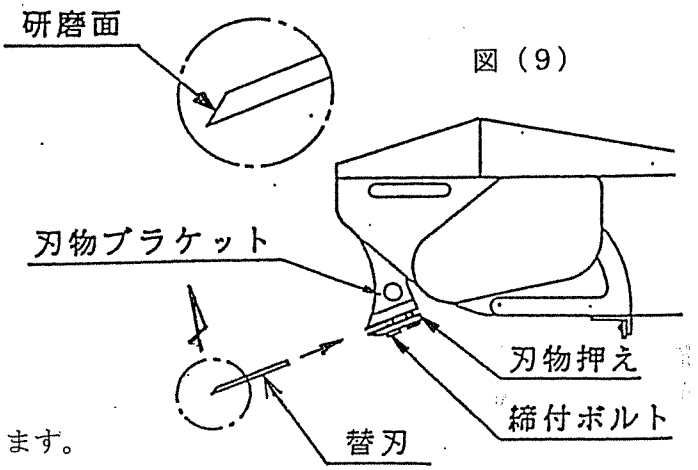
［⚠ 警告］刃物は奥まで差込みボルトは強く締めて下さい。

［ メモ ］刃物が磨耗して短くなった刃物は、継ぎピースを使用してください。
（１３頁参照）

図（８）



図（９）



［刃物の角度調整］

刃物の角度調整には２通りの方法があります。

（方法１）

1．（図１０）の様に本体を横に寝かせて下さい。

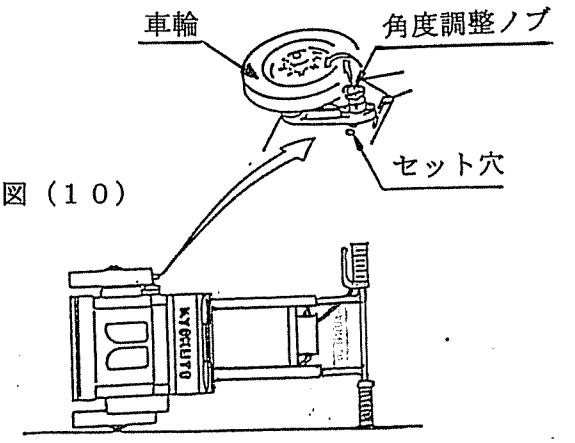
2．次ぎに角度調整ノブを矢印の方向に引っ張り、９０度回して下さい。

3．図（１１）の様に本体を反対向きに寝かせ角度調整ノブを引っ張りながらもう片方の手で車輪を持ちセット穴に入れます。

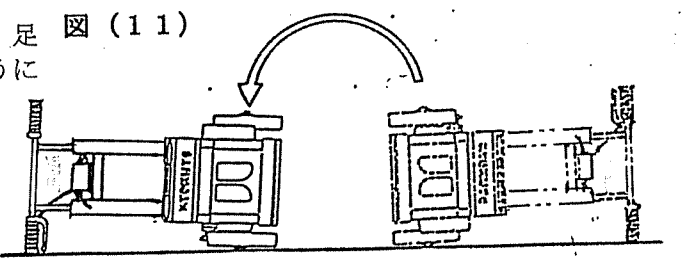
4．最後にもう一度本体を反対向きに寝かせ角度調整ノブをセット穴に入れ完了です。

［⚠警告］本体を横に向けるときは、足元に機械が落下しないように充分注意して下さい。

図（１０）



図（１１）



（方法２）

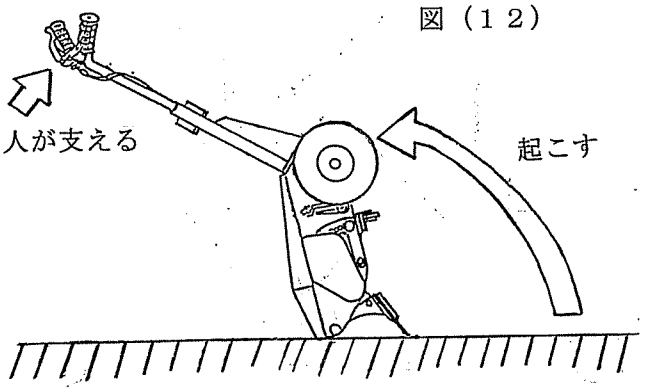
１．図（１２）のように本体を起こして下さい。

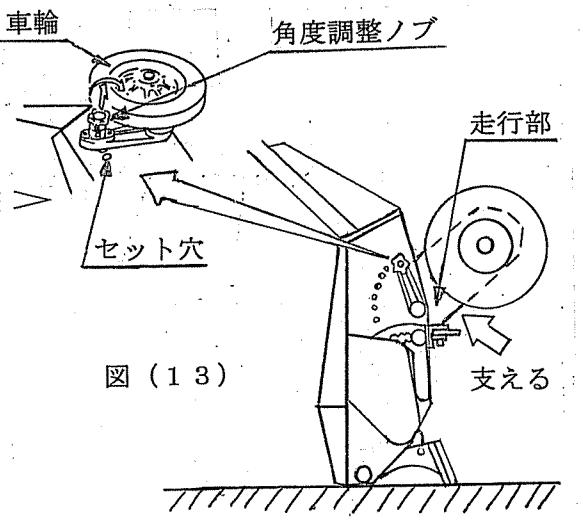
［⚠警告］本体を起こして作業をするときに、ハンドルを人が支えるなどして本体が転倒しないようにして下さい

２．ギヤ部分が落ちてこないように手でしっかりと支えながら、左右の角度調整ノブを引っ張って９０度回して下さい。（図１３参照）

３．ギヤ部分を動かして、設定したい角度に合わせた後に、左右の角度調整ノブをセット穴に入れて下さい。

図（１２）





図（１３）

＜スイーパーの角度調整＞

１．床剥がし作業を行う場合、刃先角度を決めた後、スイーパーの角度調整を行います。

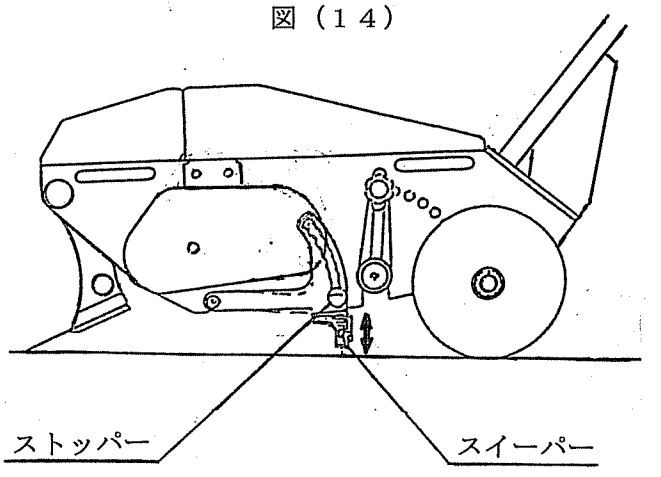
まず、ストッパーを工具（六角棒レンチ）を使ってストッパーを緩めスイーパーが床面に当たるように下げて固定して下さい。

スイーパーのゴム部分が床面に当たらない時はゴム板部分だけ調整して床面に当たるように調整して下さい。

［⚠注意］作業中に刃先角度を変える場合は、必ずスイーパーを一番上まで挙げた状態にしてから刃先の角度変更を行い、その後スイーパーも再調整して下さい。

２．移動・保管の場合は、スイーパーを一番上に上げた状態にして下さい。

図（１４）



＜床剥ぎ作業要領＞

1．ＡＣ１００Ｖ－１５Ａ以上のコンセントにプラグを差込みます。

2．刃物を浮かした状態でスイッチをＯＮにし、刃物の動きがスムーズになった後、ゆっくりと刃物を床面の中に食い込ませた状態にします。
食い込んでいない場合は、刃物の角度調整（８、９頁参照）によって調整して下さい。

［メモ］あらかじめ刃物の当たる床面を、少しはがしておくとより速く作業が行えます。

［⚠警告］刃物が床面に接した状態で刃物スイッチを”ＯＮ”にしますと本体がバックしてくることがありますので、必ず、刃物を浮かした状態で刃物スイッチを”ＯＮ”にして下さい。

3．調整終了後、床材のはがれ具合を見ながら、前方方向に押して行きます。

4．床材下地に食い込んだりするときは刃物の角度調整（８、９頁参照）によって再調整し床材のはがれ具合を見ながら、前方方向に押して行きます。

5．作業中どうしても剥がれない所がある場合は、足掛け台に足を掛け少し押して下さい。
又、刃物（３）に交換してはがしてみて下さい。

6．走行の停止はクラッチレバーでクラッチの接続を切り、停止させてから電源スイッチで”ＯＦＦ”にして下さい。

7．床材のはがれ具合が悪くなったら、刃物の研磨の要領に従って研磨した刃物に取り替えるか、又はニューパワフルペッカー（ＳＭ－１３型）に刃物を取り付けたまま、刃物の研磨の要領に従って再研磨してください。

［ メモ ］ニューパワフル ペッカー用には刃物が３種類あります。剥がす床の材料や接着の度合に合わせて、使い分けていただくと便利です。

刃物（１）・・・標準刃物
刃物（２）・・・ＣＦシート等の長尺床材に適しています。（サイド刃付き）
刃物（３）・・・頑固に接着している場合に標準の刃物（１）よりも適しています。

［ メモ ］下地がコンパネ等の場合は、新しい刃物で剥がすと下地にまで食い込むことがあります。
その場合には、あらかじめ刃先をコンクリート下地の部分で少し動かして刃先部を少し磨滅させて、下地に食い込まないようにして作業して下さい。

＜保守点検＞

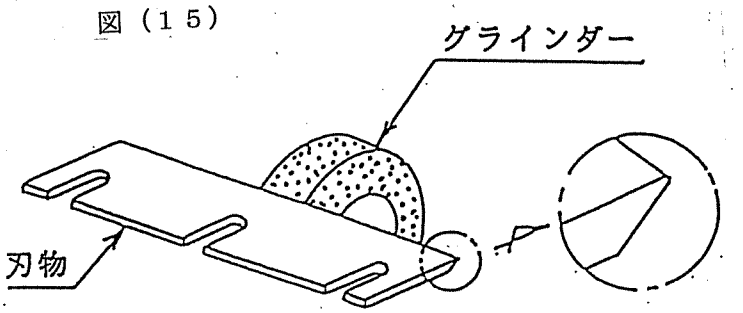
［刃物の研磨］

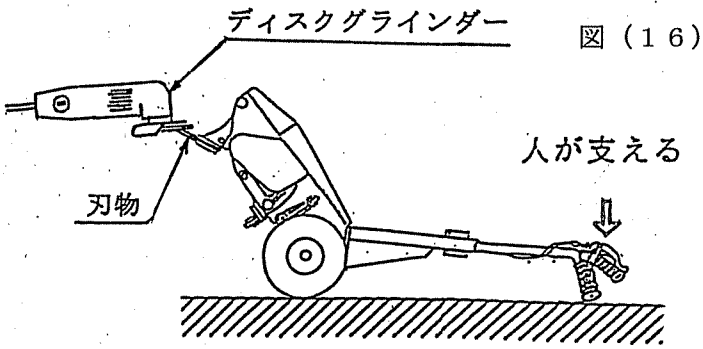
剥がれ方が悪くなった刃物は図（１５）に示す様にグラインダー等で刃先を研磨してください。

［⚠ 注意］刃物が短くなった場合は、早めに新しい刃物と交換してください。

［ メモ ］新しい予備の刃物や、再研磨した予備の刃物がない場合は図（１６）の様に刃物はニューパワフルペッカーに付けたままディスクグラインダーで研磨しても便利な方法です。
（この時は、必ず防護メガネを装着しニューパワフルペッカーがぐらぐらしないように固定して研磨してださい。）

図（１５）





図（１６）

［ベルトの調整と取り替え］

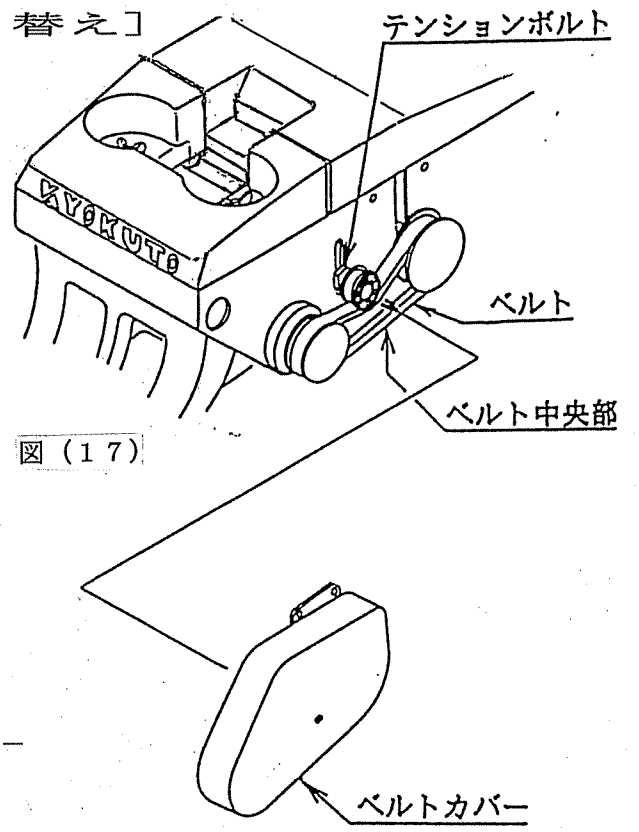
１．ベルトカバーを外して下さい。

２．テンションボルトを緩め適当なベルトの張り状態にして、テンションボルトを締めて下さい。

［⚠ 注意］ベルトの張り具合は、ベルト中央を軽く押さえて５～１０ｍｍたわむ程度が適当です。
図（１７）参照

３．ベルトに損傷がある場合は新しい物に取り替え適当な張り具合にしてください。

４．ベルトカバーを取り付けて下さい。



図（１７）

［走行用ベルトの調整と取り替え］

1．ウェイトカバーを取り外して下さい。

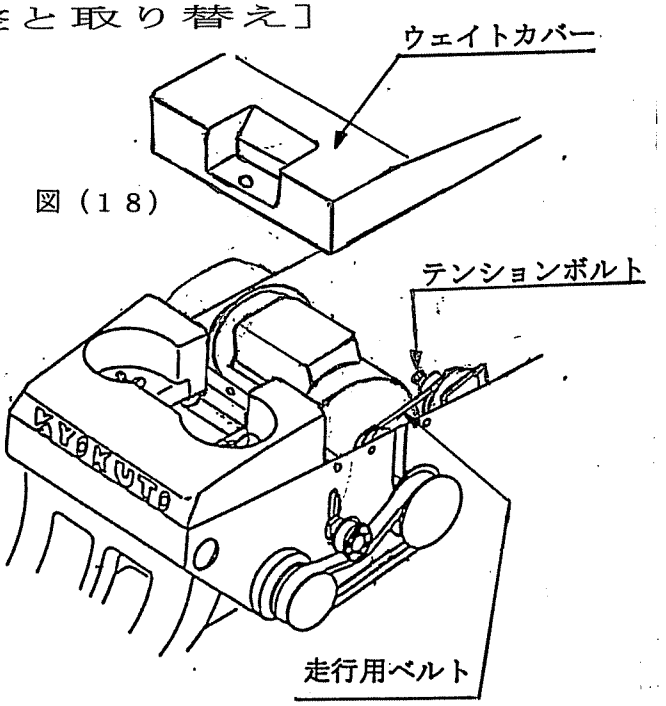
2．テンションボルトを緩め走行用ベルトを緩みが無いように張りテンションボルトを緩まぬ様に締め直して下さい。

3．走行用ベルトが切れている場合は、刃物用ベルトカバーを外し刃物用ベルトも一度取り外します。

4．モータープーリーから走行用ベルトを入れ、フレームの内側に通します。

5．テンションボルトを緩め走行用ベルトを掛けます。

6．走行ベルトを緩まぬように張り直しテンションボルトを締め直します。



図（１８）

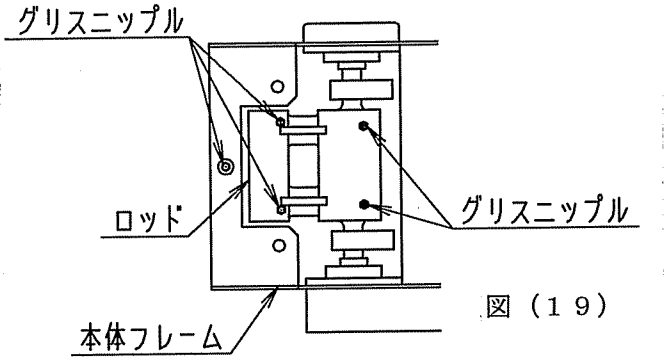
［グリスの給脂］

1．ウェイトを外し、グリスニップルにグリスガンで給脂して下さい。
（図１９参照）

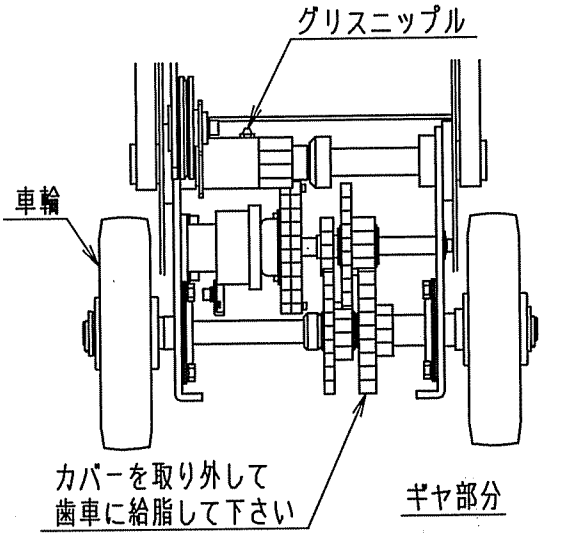
［⚠注意］作業前に必ず給脂して下さい。

2．ギヤ部分のカバーを取り外して、歯車及びグリスニップルに給脂して下さい。
（図２０参照）

［⚠注意］油脂分を切らさないように充分注意して下さい。



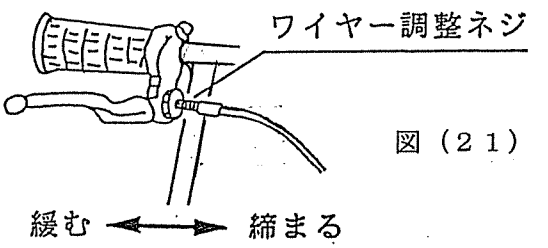
図（１９）



図（２０）

［クラッチ調節方法］

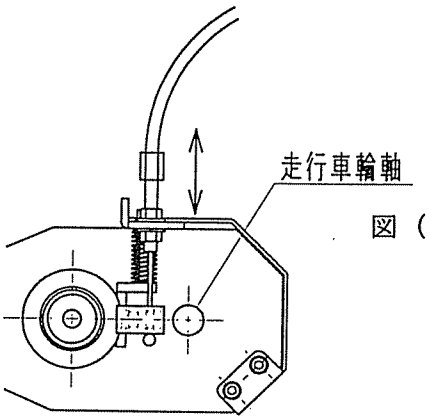
＊クラッチレバーを握っても遊びが大きくクラッチが切れにくい場合には、下記の要領で調節して下さい。



図（２１）

１．クラッチレバーに付いているワイヤー調節ネジでクラッチが適切に切れる位置に調節します。（ワイヤー調節ネジを右側に出すとクラッチレバーは締まり、左側に入れると緩みます。）図（２１）参照

２．上記の方法でまだクラッチの切れが悪い場合は、本体下部の走行車軸付近にあるワイヤー調節ネジで調節して下さい。図（２２）参照



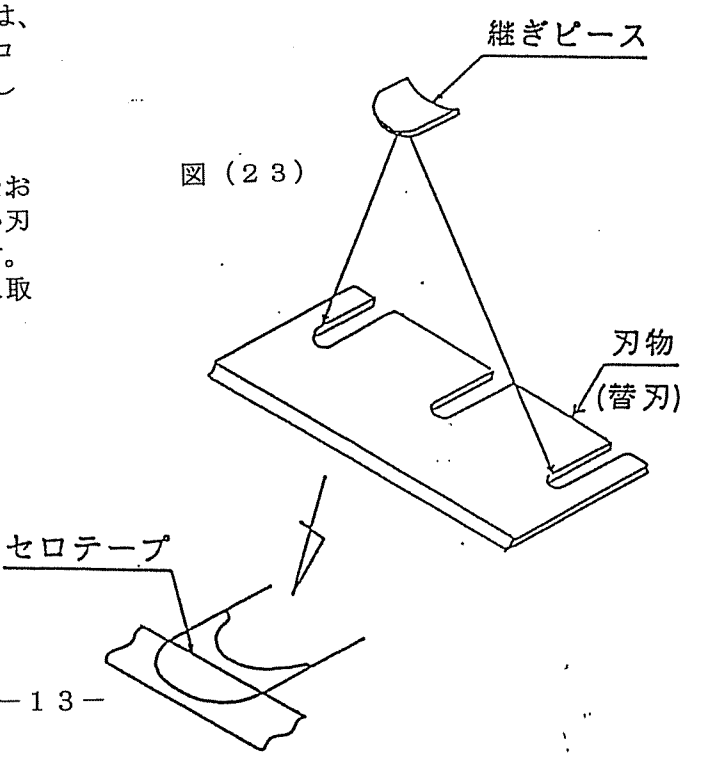
図（２２）

［⚠注意］ワイヤーは使用しているうちに伸びてくることがありますので、使用前に点検しておくと作業中にクラッチが切れた等の故障を防ぐことができます。

［継ぎピースのセット］

１．刃先が磨耗して、短くなった刃物には、図（２３）の様に、継ぎピースをセロハンテープ等で刃物に固定して使用して下さい。

［⚠ 注意］継ぎピースを使用していてなおかつ短くなった刃物は新しい刃物に交換する目安になります。
使用しないで新しい刃物に取り替えて使用してください。

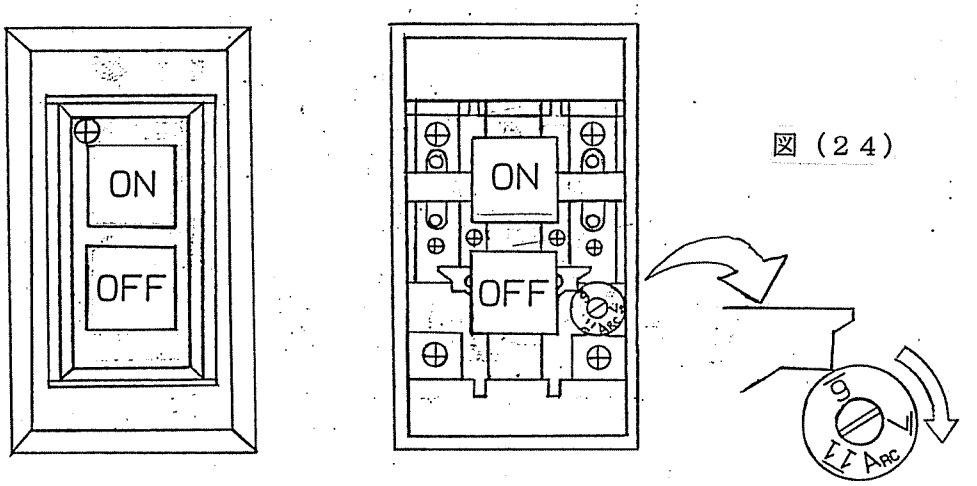


図（２３）

［過負荷遮断機構］

本機は、過負荷遮断機構がスイッチに内蔵されています。作業中に過負荷（定格電流９Ａ以上になりますと自動的に電流が切れる様になっています。再び作業される時には過負荷の原因を取り除きスイッチを”ＯＮ”にすると動きます。

過負荷の原因を取り除いても度々過負荷遮断機構が働く場合は遮断機構の設定値を図（２４）の様にして変更して使用して下さい。



図（２４）

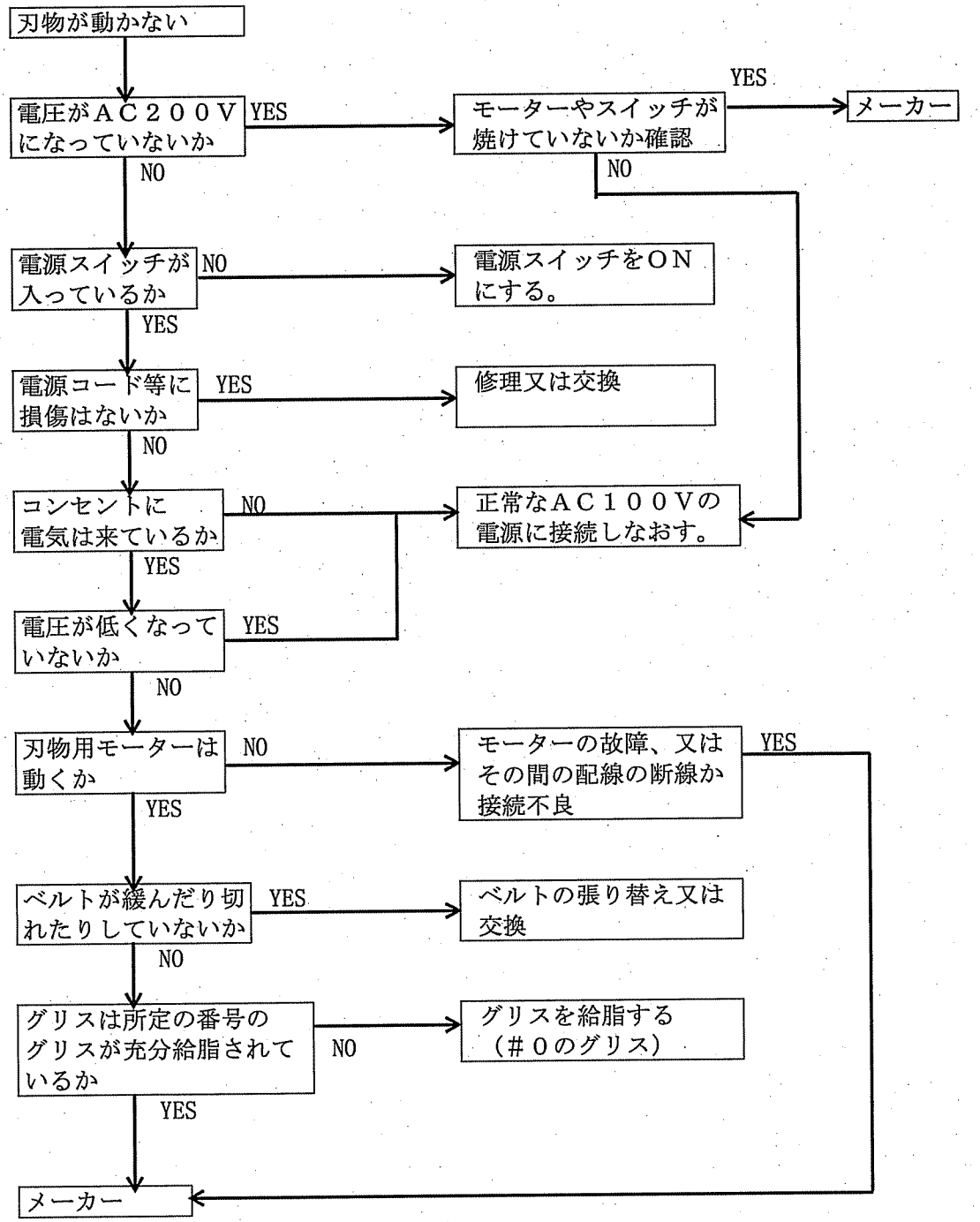
［⚠ 注意］長いコードリール等で電線を延長して電圧が下がっている場合は電圧が下がった分電流が多く流れて過負荷遮断機構が働く場合があります。

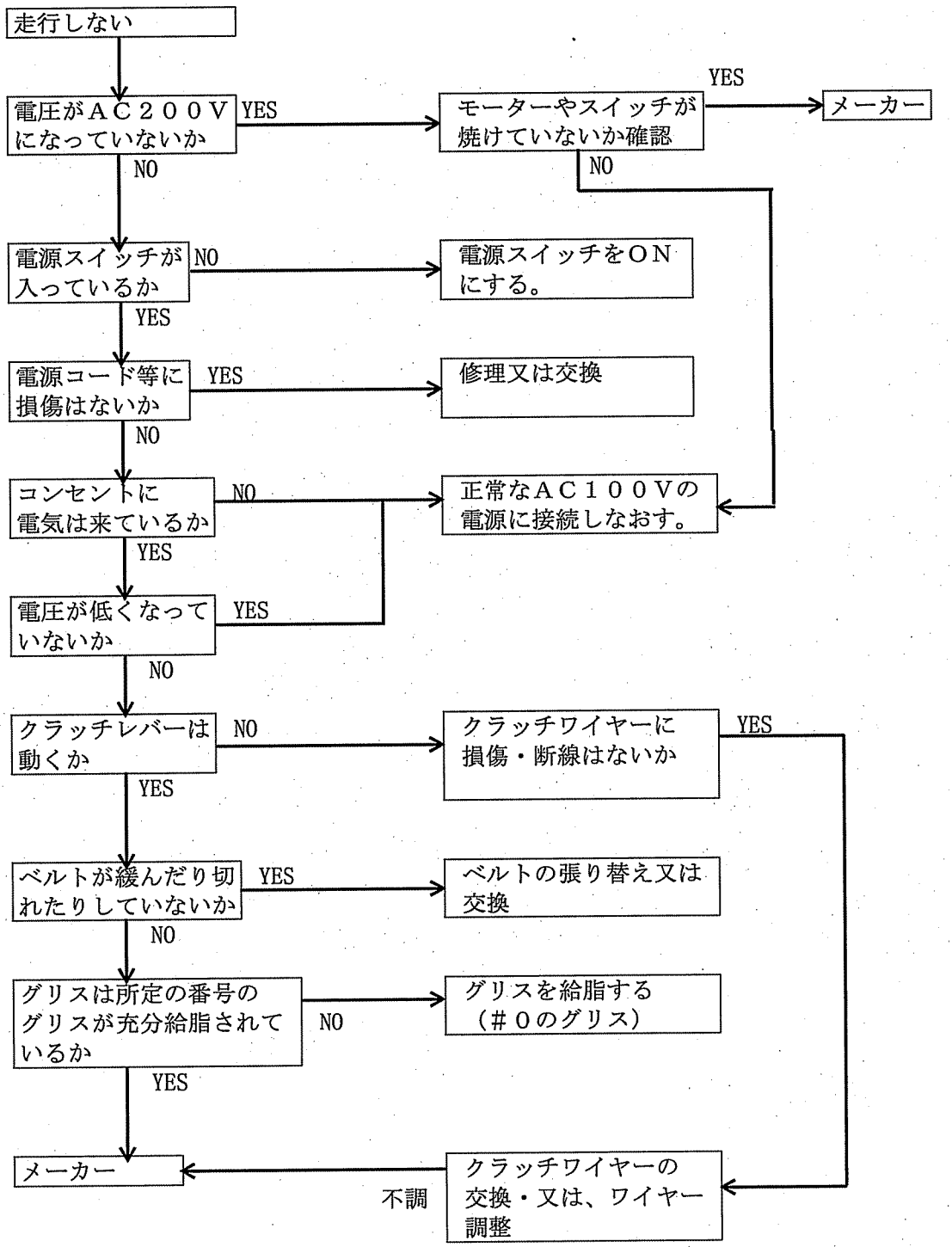
その場合には、コードリールで電線を延長しないで、コンセント直にニューパワフルペッカーの電源プラグを差し込む様にして下さい。

［⚠ 注意］工事現場の電源電圧自体が下がっている場合には、昇圧器（別売り）を使用して電圧をＡＣ１００Ｖに昇圧して使用して下さい。

＜故障かな・・・？＞

本機に何らかの異常が生じた場合は、次の手順に従ってチェックして対処して下さい。
→メーカーに行き付いた場合は、御購入頂いた販売店、又は最寄りの当社営業所迄御連絡下さい。




走行しない
電圧がＡＣ２００Ｖになっていないか
YES
モーターやスイッチが焼けていないか確認
YES
メーカー
NO
NO
電源スイッチが入っているか
NO
電源スイッチをＯＮにする。
YES
電源コード等に損傷はないか
YES
修理又は交換
NO
コンセントに電気は来ているか
NO
正常なＡＣ１００Ｖの電源に接続しなおす。
YES
電圧が低くなっていないか
YES
NO
クラッチレバーは動くか
NO
クラッチワイヤーに損傷・断線はないか
YES
YES
ベルトが緩んだり切れたりしていないか
YES
ベルトの張り替え又は交換
NO
グリスは所定の番号のグリスが充分給脂されているか
NO
グリスを給脂する（＃０のグリス）
YES
メーカー
不調
クラッチワイヤーの交換・又は、ワイヤー調整

＜仕様＞

全　　長　＝１１４０ｍｍ（ハンドルを上げた時）
　　９８２ｍｍ（ハンドルを下げた時）

全　　高　＝８８１ｍｍ（ハンドルを上げた時）
　　６８５ｍｍ（ハンドルを下げた時）

全　　幅　＝５０６ｍｍ

全 重 量　＝１１８　ｋｇ（ウェイト無し　１０３ｋｇ）

刃　　幅　＝２７０ｍｍ

モーター　＝ＡＣ１００Ｖ，５５０Ｗ全閉外扇モーター

お問い合わせ先

インテリア機器の総合メーカー
極東産機株式会社
〒679-4195兵庫県たつの市龍野町日飼190 TEL0791-62-1771
URL http://www.kyokuto-sanki.co.jp/

お客様相談室　0120-079177（土・日・祝日を除く 10:00～18:00）